

**平成 24 年度小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会
結果概要（助言事項等）**

平成 25 年 3 月 11 日に開催された小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会における管理機関への助言事項等は以下のとおりである。

議題 1) 世界遺産委員会決議への対応状況について

- ・世界遺産委員会決議への対応状況について、項目毎に事務局から報告を受けた。
- ・要請事項 a) 外来種対策について、委員から管理機関への助言又は要望事項は以下のとおり。
 - 個別の種ごとに対策を検討するのではなく、生態系を包括的に見渡した上で複数の対策を連携して実行できるような検討の場を設定していくこと
 - 外来種の駆除によって起こる影響について得られてきた知見を活用し、事前に予測を行った上で実施する等、今後はより効果的な形で対策を展開し順応的管理を実施すること
 - 根絶が難しい外来種もあるため、低密度管理や外来種の機能の活用も考慮に入れること
 - 生態系保全アクションプランの見直しにあたって地域連絡会議の意見を盛り込むこと
 - 新たな外来種の侵入拡散防止については、実際にどのような外来種がどのようなルート入ってきたか分かるものを調査し、現地や関係者を広く巻き込んで丁寧な議論を進めること
- ・要請事項 b) 環境影響評価については、計画立案段階での事前相談が必要であるとの意見が出された。
- ・奨励事項 b) 気候変動の影響モニタリングについて、委員から管理機関への助言又は要望事項は以下のとおり。
 - 既存のモニタリング調査（モニタリングサイト 1000 等）との連携や他の地域における気候変動の影響との比較も必要ではないか
 - 現在認められている OUV は生態系のみであるが、将来的なことを考えて生物多様性も意識したモニタリングプログラムとする必要がある
 - 現在林野庁補助事業で検討されている森林生態系のモニタリングプログラムに加えて、海域のモニタリングプログラムも検討すること
 - 気候変動だけではなく、世界遺産としての価値の保全に関する総合的なモニタリング計画について、その内容や実施主体及び体制等について、来年度から事務局において検討を進めること

議題 2) 地域連絡会議からの報告

- ・地域連絡会議からの報告として、地域連絡会議や村民意見交換会について事務局から報告を受けた。
- ・委員から、来年度科学委員会として現地を訪問し、現地との意見交換することについて要望が出された。

議題 3) 今後の予定について

- ・科学委員会と各下部ワーキングの来年度の進め方について、案の通り運用することを了承した。

議題 4) その他

- ・特になし